マックスレーザー距離計

LS-211

⚠ 警告

●お使いになる前に、必ず本書をよく読んでください。
●禁止されている方法で使用すると、傷害、故障、および物的損害をもたらすことがあります。
●レーザ光を直接見たり、レーザ照射口をのぞきこまないでください。
●鏡のように反射したり、不意の反射を受けそうな場所（例えばプリズム、鏡、金属面、窓ガラス）にレーザ光を向ける際、反射されたレーザ光を直視しないでください。
●レーザ光を人に向けて照射しないでください。
●本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。
●水、薬品などが機械にかからないようにしてください。
●必ず、十分な測定スペースを確保してください。また、現地の事故防止規則、道路安全規則に従ってください。
●梯子を使用しているときや稼動中の機械のそばや、保護されていない機械や設備の部品のそばで測定しているときに、足場上で、故意の、または無責任な行動をとらないでください。
●必ず純正のレーザ距離計用アクセサリをご使用ください。

●この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
●本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

必ずお読みください

はじめに

この度はマックス レーザ距離計 LS-211をご購入いただき誠にありがとうございます。本機は測定業務の効率化と作業品質の向上を目指して開発されたハンディなレーザ距離計です。本機は、**①距離の測定、②面積や容積の計算、③測定値の保存**、を使用目的として作られています。簡単な操作で、従来時間のかかっていた作業を容易なものにします。末永くご愛用いただくために、この取扱説明書に従ってお取扱いいただきますようお願い申し上げます。

レーザクラス

本機は、可視のレーザ光を本体前面から照射します。本機は、次の規格に基づくクラス2レーザ製品です。

●IEC60825-1：2001**「レーザ製品の放射安全性」**
●EN60825-1：2001**「レーザ製品の放射安全性」**

本機は次の規格に基づくクラスⅡレーザ製品です。
●FDA21CFR Ch.I §1040：2004
（アメリカ合衆国 保険社会福祉省、連邦規制基準）

※レーザクラス2／Ⅱとは；
不必要に、レーザビームをのぞき込んだり、他の人に向けたりしないでください。通常は、まばたきを含む嫌悪反応により目が保護されます。

次項以降の「警告」「注意」表記をよくお読みになり、記載事項に従った取り扱いをしてください。

電磁波環境適合性（EMC）

「電磁波適合性」とは本機に電磁放射や静電気の放電がある環境で円滑に機能する性能があり、また、他の機器に電磁干渉を与えないことを意味します。

⚠**警告：**

電磁放射は他の機器に干渉を起こすことがあります。
本機は、この件について施行されている厳格な規則や標準規格に適合していますが、販売元であるマックス株式会社としては、他の機器への電磁干渉を起こすかもしれないという可能性を完全に除外することはできません。

日本測量機器工業会発行「測量機器の安全確保のための表示に関するガイドライン」（第三版）に基づく表示

⚠**警告：**

故意に人体に向けて使用しないでください。レーザ光は人体や眼に有害です。万一、レーザ光による障害が疑われるときは、速やかに医師による診察処置を受けてください。

⚠**警告：**

機器を据え付けた状態で使用してください。やむを得ず手で保持して使用する場合は周囲に人がいないことを確認の上使用してください。

⚠**注意：**

レーザ製品は、誤って使われないように子供など製品知識を持たない者の手に触れることの無いよう保管してください。

⚠**注意：**

レーザ光が不意に眼に入ると眼のまばたきによって不注意状態を生じ、思わぬ事故を誘発する恐れがあります。レーザ製品は、車を運転する人や歩行者の目の高さを避けて使用してください。

⚠**注意：**

測定時以外は電源を切ってください。

必ずお読みください

ご使用上の注意

■表示について

この取扱説明書および商品は、商品を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことや物的損害のみの発生が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

お願い

機械が故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

メモ

操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。

参照

説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

■絵表示について

△	「気をつけるべきこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。
⃠	「してはいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。
●	「しなければいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。

ご使用上の注意

	●**お使いになる前に、必ず本書をよく読んでください。** 取り扱い説明を受けなかったり、説明が不十分だったりすると、本機を誤った方法、または禁止されている方法で使用してしまう可能性があり、広範囲にわたる、人的、物的、環境的損害につながることがあります。
	●**禁止されている方法で使用すると、傷害、故障、および物的損害をもたらすことがあります。** 本機の使用者に、その危険性と、いかにそれを回避するかを伝達するのは、本機を管理する方の職務です。本機を操作する前に、使用者は、必ず取り扱いの説明を受けてください。
	●**レーザ光を直接見たり、レーザ照射口をのぞきこまないでください。** 目を傷める恐れがあります。
	●**光学補助機器（例えば、双眼鏡や望遠鏡など）でレーザ光を直接見ないでください。**目を傷める恐れがあります。
	●**鏡のように反射したり、不意の反射を受けそうな場所（例えばプリズム、鏡、金属面、窓ガラス）にレーザ光を向ける際、反射されたレーザ光を直視しないでください。**
	●**レーザ光を人に向けて照射しないでください。**
	●**本機は絶対に分解または改造しないでください。また、説明や危険に関するラベルを剥がさないでください。**
	●**本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。** 本機の故障の原因になります。
	●**水、薬品などが機械にかからないようにしてください。**万一内部に水などが入った場合は、販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。

必ずお読みください

ご使用上の注意

	⚠ 警　告
	●**異常を感じたら本機を絶対に使わないでください。**
	●**必ず、十分な測定スペースを確保してください。また、現地の事故防止規則、道路安全規則に従ってください。** 公共道路上、建設現場、または工場などで、測定スペースを十分に確保しなかったり、きちんと標識を立てなかったりすると、危険な状況を作り出すことになります。
	●**梯子を使用しているときや稼動中の機械のそばや、保護されていない機械や設備の部品のそばで測定しているときに、足場上で、故意の、または無責任な行動をとらないでください。**
	●**必ず純正のレーザ距離計用アクセサリをご使用ください。** ほかの製造元のレーザ距離計用アクセサリを本機とともに使用すると安全性や測定精度が維持できない場合があります。
	●**本機を廃棄する場合は、法律に従って、適切に廃棄してください。必ず､本機を使用する権限の無い人の手に渡らないようにしてください。**

	⚠ 注　意
	●**本機に欠陥がある場合、または、本機を落としたり、誤った使用をしたり、改造したりした場合、距離が誤測定される恐れがあります。予防措置として、定期的に試験測定をしてください。特に、本機を通常でない形で使用した後や、重要な測定の前後と最中に、試験をしてください。** **また、レンズに汚れが無く、本体に機械的損傷が無いことを確かめてからお使いください。**
	●**本機は、制御装置としてではなく、測定センサーとしてのみ使用してください。**本機を、距離の測定や、動いている物体（例えば、クレーン、建設機械、プラットフォームなど）の位置の確定に使用している場合、予測しない事態により、誤測定が起こる場合があります。

目次

必ずお読みください……1
はじめに……1～2
ご使用上の注意……3～5
目次……6

第1章　お使いになる前に……7
1.1　同梱品をご確認ください……7
1.2　本体各部の名称……8
1.3　各部の名称（キーボード）……9
1.4　ディスプレイ……10

第2章　本体の準備をします……11
2.1　電池のセットのしかた……11
2.2　電源の入れ方／切り方……12
2.3　測定基準の設定……13～14
2.4　ディスプレイのバックライト……14

第3章　測定しましょう……15
3.1　距離を測定する……15
3.2　連続測定する（最大・最小測定）……16
3.3　計算機能を使う（加算・減算）……17
3.4　呼出機能……18

第4章　機能を使った測定をしましょう……19
4.1　面積を測定する……19
4.2　容積を測定する……20
4.3　ピタゴラス機能～2点測定～を使う……21～22
4.4　ピタゴラス機能～3点測定～を使う……23～24
4.5　ピッチ測定機能を使う……25～26

第5章　測定条件……27

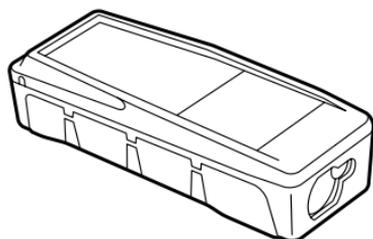
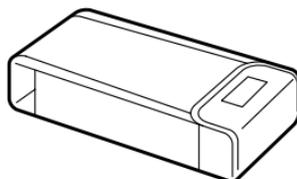
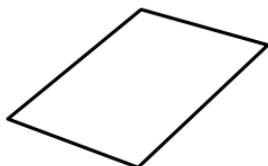
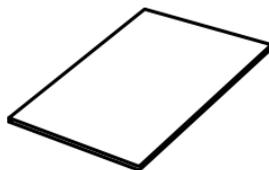
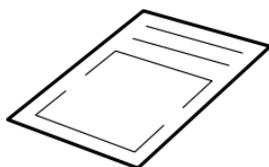
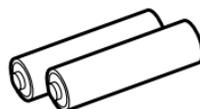
第6章　お手入れのしかた……28

第7章　主な製品仕様……29

第8章　こんなときは……30
8.1　エラーメッセージ……30
8.2　うまく測定できないとき……31
8.3　お問い合わせ……32

第9章　保証書／アフターサービスなど……33
9.1　保証書／アフターサービス……33

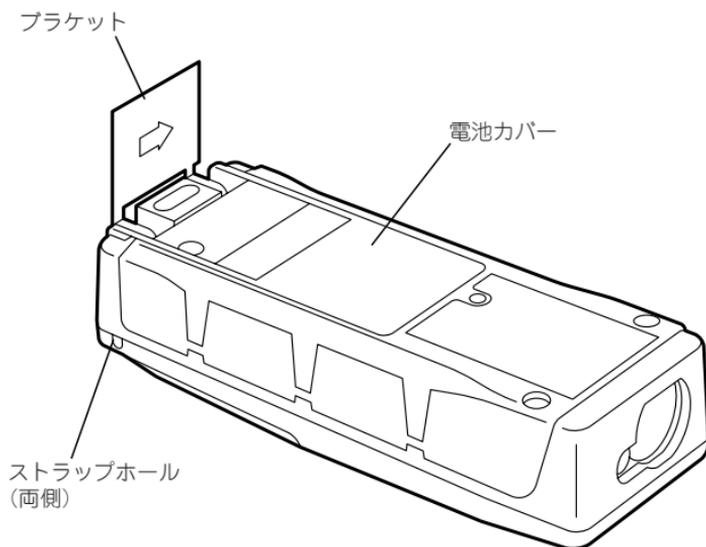
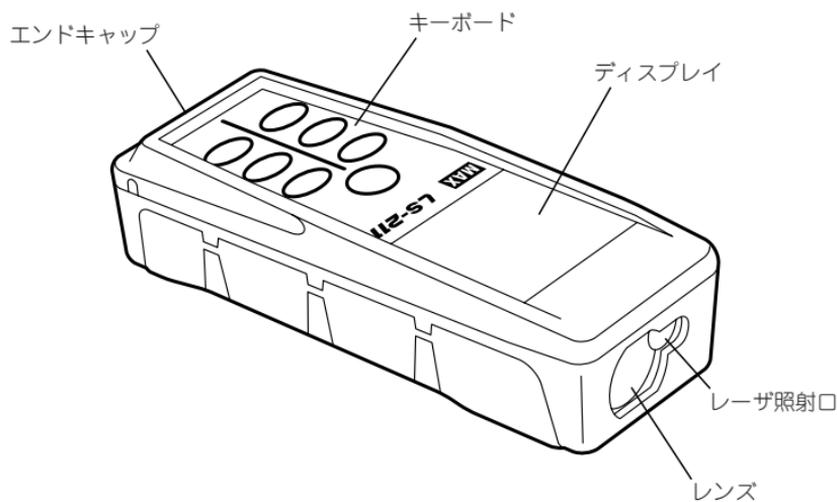
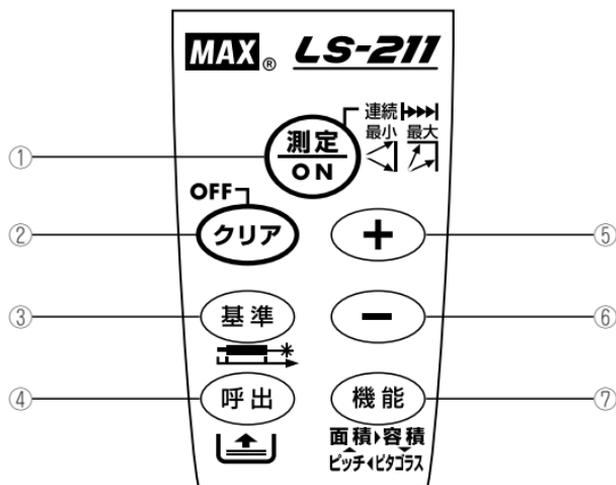
第1章　お使いになる前に

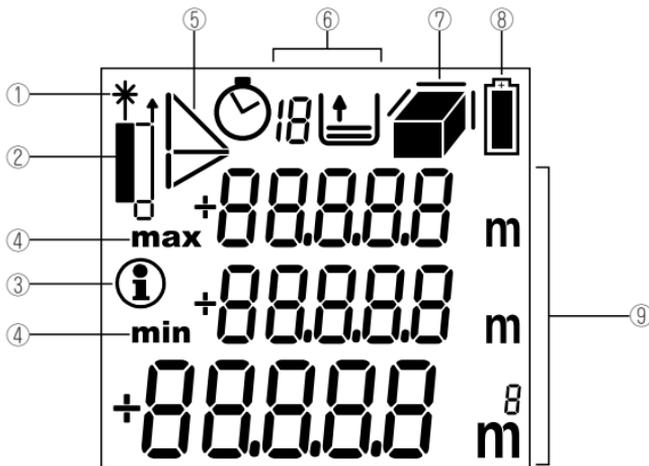
1.1 同梱品をご確認ください

①本体

②ホルスターケース

③クイックスタートガイド

④取扱説明書（本書）

⑤保証書

⑥単4形アルカリ乾電池2本

⑦ハンドストラップ

1.2 本体各部の名称

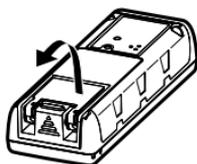
エンドキャップ
キーボード
ディスプレイ
MAX
LS-211
レーザ照射口
レンズ

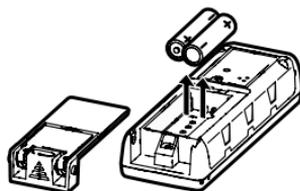
ブラケット
電池カバー
ストラップホール
（両側）

1.3 各部の名称（キーボード）

図の番号	キー名称	はたらき	参照ページ
①	測定／ON	1）電源をONにします。 2）測定時に押します。 3）長押しすると、連続測定モードになります。最大値、最小値はこのモードで測定します。	12 15 16
②	クリア	1）測定値をクリアします。 2）長押しすると電源をOFFします。	17 12
③	基準	本機側の測定基準を前端／後端／ブラケットに設定します。	13
④	呼出	過去に測定したデータを呼び出します。	18
⑤	＋	測定値を加算するときに押します。	17
⑥	−	測定値を減算するときに押します。	17
⑦	機能	このキーを押すごとに次の機能が使用できます。 1）面積測定 2）容積測定 3）ピタゴラス測定（2点測定） 4）ピタゴラス測定（3点測定） 5）ピッチ測定	 19 20 21 23 25

1.4 ディスプレイ

図の番号	表　示	意　味
①	レーザ照射ON表示	レーザが照射されているときに点滅します。
②	測定基準	測定基準がどこに設定されているか表示します。 （前端／後端／ブラケット）
③	インフォメーション	本機からのメッセージがある場合に表示します。
④	最大／最小	連続測定時に表示します。最大値は「max」の右側に、最小値は「min」の右側に表示します。
⑤	ピタゴラス機能	ピタゴラス測定モードで表示します。 測定箇所を点滅表示します。
⑥	呼出機能	自動記憶された測定値の呼出時に表示します。
⑦	面積／容積表示	面積・容積測定モード時に表示します。 測定箇所の辺を点滅表示します。
⑧	電池残量表示	電源ON時に電池の残量を表示します。（目安） 点滅した場合は、電池残量がわずかです。交換してください。
⑨	測定結果表示 m単位 小数点第3位（mm単位）まで	1）直前の測定結果を表示します。 2）面積、容積、ピタゴラス機能、ピッチ機能を使用するときは、それぞれの機能に応じた測定結果を表示します。

第2章　本体の準備をします

2.1 電池のセットのしかた

1. 電池カバーを開けます。

ブラケットをつまみ、引き起こします。

2. 電池の向きを確認し、挿入します。

3. 電池カバーを閉めます。ディスプレイ上で、が常に点滅表示された時は、電池を交換します。

お願い

☆アルカリ乾電池を使用してください（充電式電池、マンガン電池は使用しないでください）。
☆長期にわたって本体を使用しない場合は、電池を本体から取り外しておいて下さい。（液漏れの危険があります。）

☆電池を入れ替えても、設定と測定値自動保存の内容は消去されません。

2.2 電源の入れ方／切り方

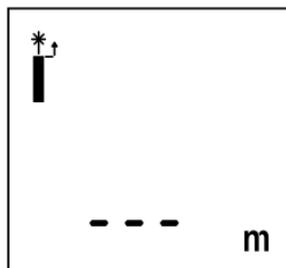
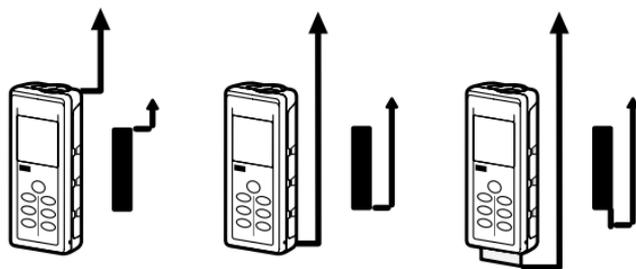
（測定ON）を押すと、本体の電源がオンになり、レーザドットが照射されます。（ディスプレイには、乾電池残量が表示されます。）

（クリア）を長く押すと、オフになります。電源は、使用3分後に自動的にオフになります。

2.3 測定基準の設定

本機のどの部分からの測定を行なうか、測定基準を設定します。
初期値は本体後端に設定されています。測定基準は、前端、後端、ブラケットから選びます。

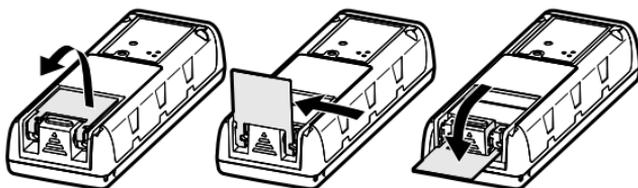
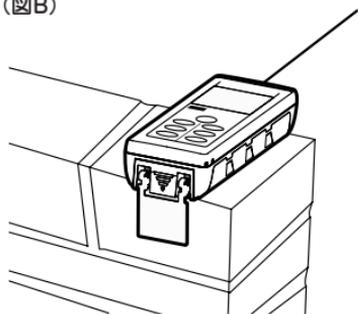
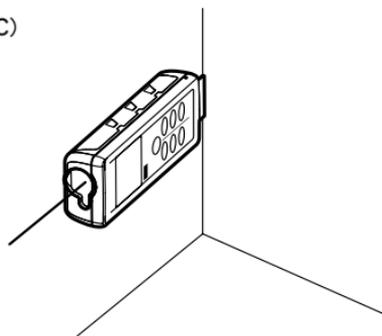
1. （基準）**キーを押すと測定基準が本体前端に設定されます。**

2. 測定基準の表示が変わります。
測定基準が変更された場合は、ディスプレイ左上の表示が変わります。
（図A）を参照してください。
測定後には、測定基準が自動的に本体後端に戻ります。

（図A）

☆後端に設定された状態で（基準）キーを長く押すと、測定基準は、本体前端に固定されます。但し、電源を切るとクリアされ、後端に戻ります。

☆前端に設定された状態で（基準）キーを長く押すと、測定基準は、ブラケットが開いた基準位置に固定されます。但し、電源を切るとクリアされ、後端に戻ります。

（ブラケットを使用する場合）

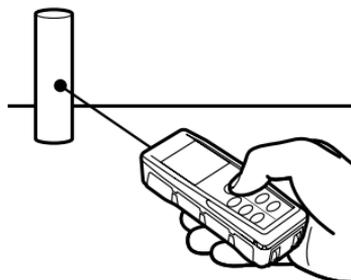
ブラケットは、次の2つの方法でお使いいただけます。

1. ブラケットを出します。

Aの位置まで開いて使う。（図B）　　**Bの位置まで開いて使う。（図C）**

2.4 ディスプレイのバックライト

測定ON キーを押した時や、電源ONの状態でいずれかのキーを押した時に、ディスプレイのバックライトが点灯します。15秒間キーが押されないと自動で消灯します。

第3章　測定しましょう

3.1 距離を測定する

1. 測定する対象物に本機を向け
測定ON キーを押します。
レーザ光が照射されます。

2. レーザポインタ（赤い点）を測定対象にあわせ、再度 測定ON キーを押します。距離が表示されます。

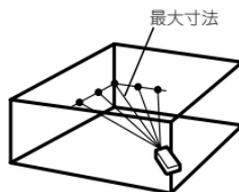
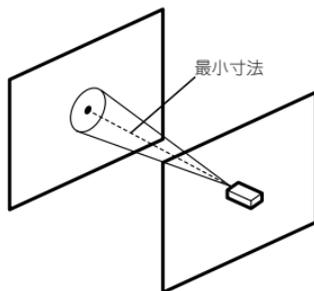
メモ

☆本機は原則として屋内用途を想定して設計されています。
夏の屋外など太陽光の明るい場所では測定できません。影の部分などを狙って測定してみてください。
☆水面などは測定できません。詳しくは測定条件のページを参照ください。

お願い

☆長い距離（目安 30m以上）を測定する場合やうまく測定できないときはターゲットプレート（別売）をお使いください。

3.2 連続測定する（最大・最小測定）

最小距離や対角などの最大距離を測定するときに使用します。

1. 測定ON キーを長押し（約1秒間）します。「ピッピッピッ…」とブザーが連続で鳴り始め、レーザ光が照射されます。
2. 画面には右図のように最大値（max）、最小値（min）、現在の値が表示されます。
3. 測定ON キーを再度押すと、最後の測定値が表示され連続測定モードを終了します。

☆最大値、最小値を計算に使うことはできません。

3.3 計算機能を使う（加算・減算）

(＋) キー、(－) キーを使って測定値の加減算ができます。

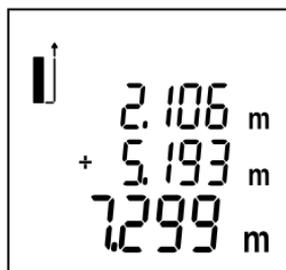
加算、減算は、必要に応じて、続けて計算することが可能です。面積、容積も同じ方法で、加算、減算が可能です。

1. (測定 ON) **キーを押し、距離を測定します。**

(＋) **キー　次の測定値を、加算します。**

(－) **キー　次の測定値を、減算します。**

2. (測定 ON) **キーを押すと、加算または、減算の計算結果が測定値メイン表示行に表示されます。**

(クリア) **キーを押すと、最後のステップの数値がキャンセルされます。**

3.4 呼出機能

測定履歴は自動で保存され、呼出 キーを押すと、保存された値を表示することができます。

1. 呼出 **キーを1回押します。**

のアイコンが表示されます。

2. ＋ **（または** − **）キーを押して、呼び出したい履歴を表示します。**

履歴には番号が小さく表示されます。

☆番号の若い方が直近に測定した結果です。

☆保存された値は、呼出 キーを押すと、加算、減算、面積、体積、ピタゴラスの各辺の数値として使用できます。

（例）面積測定で呼出機能を使う場合

機能 キーを1回押し、面積測定モードにします。

呼出 キーを押し、自動記憶された数値を呼び出します。（＋、－キーで必要な数値を選択します。）

呼出 キーを長く押すと、数値が面積の1辺の長さとして入力されます。

第4章　機能を使った測定をしましょう

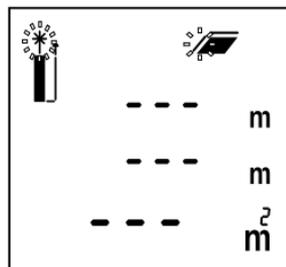
（機能）キーを使うことで、次の測定が行なえます。

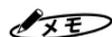
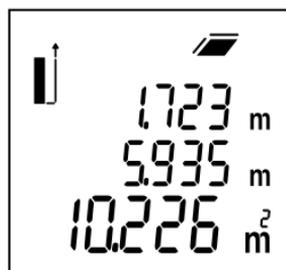
①面積　②容積　③ピタゴラス2点測定　④ピタゴラス3点測定　⑤ピッチ測定

4.1 面積を測定する

部屋の床や壁などの2辺を測定したときに、面積を自動計算で表示します。

1. （機能）キーを1回押します。

2. 画面に ▱ が表示されるので、（測定 ON）キーを1回押して最初の一辺を測定します。
1行目に測定結果が表示されます。

3. 画面に ▱ が表示されるので、（測定 ON）キーを1回押して次の一辺を測定します。
2行目に測定結果が、3行目に面積が表示されます。

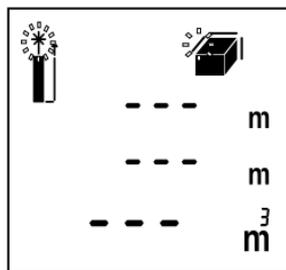
メモ

☆面積は2辺の積として計算し表示されます。
正しく計測するには、測定箇所を選び、2辺が直角となるよう本機の向きに気をつけて測定を行なってください。

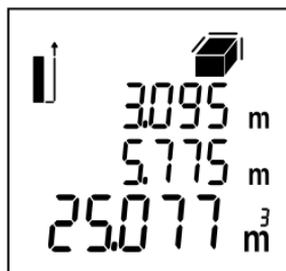
☆（クリア）キーを押すと、最後のステップの数値がキャンセルされます。

4.2 容積を測定する

部屋などの3辺を測定したときに、容積を自動計算で表示します。

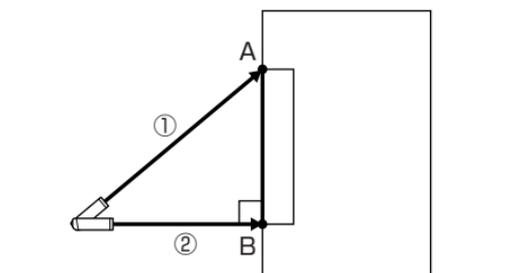
1. 機能 キーを2回押します。

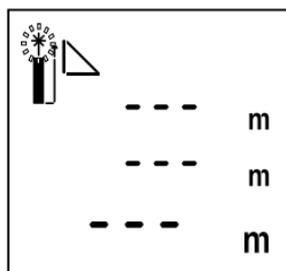
2. 画面に が表示されるので、
測定ON キーを1回押して最初の一辺を測定します。
1行目に測定結果が表示されます。

3. 画面に が表示されるので、
測定ON キーを1回押して次の一辺を測定します。
2行目に測定結果が表示され、3行目に面積が表示されます。

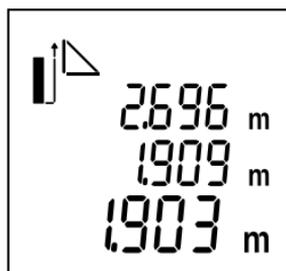
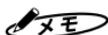
4. 画面に が表示されるので、
測定ON キーを1回押して最後の一辺を測定します。表示は次の通りです。
1行目→2回目の測定結果
2行目→3回目の測定結果
3行目→容積

☆容積は3辺の積として計算し表示されます。
正しく計測するには、測定箇所を選び、3辺が直角となるよう本機の向きに気をつけて測定を行なってください。

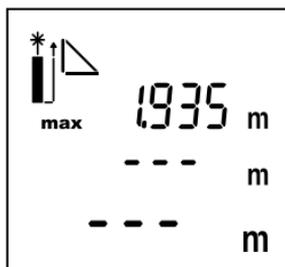
☆ クリア キーを押すと、最後のステップの数値がキャンセルされます。

4.3 ピタゴラス機能～2点測定～を使う

斜線①と水平距離②を測定して、離れた場所の鉛直方向の距離（高さ）や幅を測定します。
本機の水平方向より上側の高さ（A−B間）を測定するときに使います。

1. 機能 キーを3回押します。

   画面に ◺ が表示されます。

2. A点にレーザ光を照射し、測定ON キーを押して、斜線を測定します。
3. B点にレーザ光を照射し、測定ON キーを押して水平距離を測定します。高さ（A−B間）を自動計算し表示します。

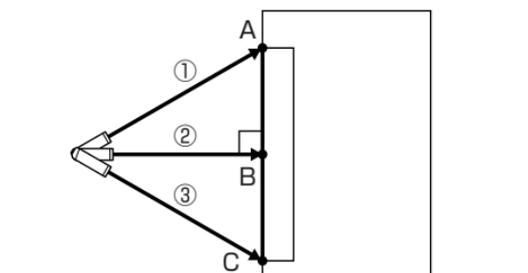
メモ

☆【**手順2.**】で、（測定ON）キーを長押しすると最大距離測定モードになります。
「max」が表示されます。

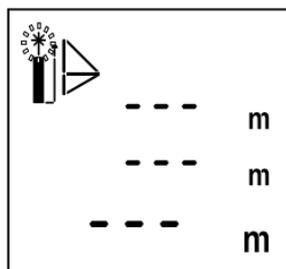
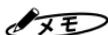
測定箇所付近をゆっくり上下に連続測定してゆき（測定ON）キーを押すと、最大距離を斜線距離として測定します。
部屋の天井の角を測定ポイントとするときなどに便利です。

☆【**手順3.**】で、（測定ON）キーを長押しすると最小距離測定モードになります。
「min」が表示されます。

測定箇所付近をゆっくり上下に連続測定してゆき（測定ON）キーを押すと、
最小距離を水平距離として高さを自動計算します。

☆測定結果から算出する際に、計算エラーが発生した場合は、ⓘ **204** が表示されます。もう一度、正しい手順で測定をします。
（クリア）キーを押すと、1回目の測定から開始できます。

4.4 ピタゴラス機能～3点測定～を使う

斜線①③と水平距離②を測定して、離れた場所の鉛直方向の距離（高さ）や幅を測定します。
本機の水平方向より下側からの高さ（A－C間）を測定するときに使います。

1. 機能 キーを4回押します。

   画面に が表示されます。

2. A点にレーザ光を照射し、 測定ON キーを押して、斜線①の距離を測定します。
3. 同様に、B点にレーザ光を照射し、測定ON キーを押して、水平距離②を測定します。
4. 同様に、C点にレーザ光を照射し、測定ON キーを押して、斜線③を測定します。高さ（A－C間）を自動計算し表示します。

☆**【手順2.】**と**【手順4.】**で、測定ONキーを長押しすると最大距離測定モードになります。
「max」が表示されます。
測定箇所付近をゆっくり上下に連続測定してゆき測定ONキーを押すと、最大距離を斜線距離として測定します。
部屋の天井の角を測定ポイントとするときなどに便利です。

☆**【手順3.】**で、測定ONキーを長押しすると最小距離測定モードになります。
「min」が表示されます。
測定箇所付近をゆっくり上下に連続測定してゆき測定ONキーを押すと、最小距離を水平距離として測定します。

☆測定結果から算出する際に、計算エラーが発生した場合は、i **204** が表示されます。もう一度、正しい手順で測定をします。
クリアキーを押すと、1回目の測定から開始できます。

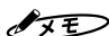
4.5 ピッチ測定機能を使う

あらかじめ測定距離を設定し、本機を直線方向に水平に動かしながら設定距離を知らせる機能です。
本機の位置を水平に動かしながら連続測定すれば、配置位置決めなどにも使用できる便利な機能です。
設定距離の10cm以内に近づくとビープ音が「ピッピッ」となり設定距離に近いことを知らせます。
設定距離の±1mm以内になるとビープ音が「プップッ」と低い音に変わります。

1. （機能）キーを5回押します。

画面に -|- - -|- が表示されます。

2. （＋）（または（−））キーを押して「a」に設定する距離を表示します。

3. 測定ON キーを押すと、レーザ光が照射され、距離を連続測定し始めます。
前ページの図のように、本機を基準となる対象から水平方向に動かし、設定位置となる距離を探します。

☆2行目は表示時に本機が最も近い設定距離を表示しています。
☆最下段は、最も近い設定距離に対してどれくらい離れているかを表示します。
☆ピッチ機能表示横の矢印は、設定距離に近づけるために動かすべき方向を示しています。
【手順3.】の場合は、設定値に対して27mm離れていることを示しています。
☆距離を設定するときは、＋（または－）キーを長押しすると値の増減を早めることができます。

第5章　測定条件

（測定範囲）

測定範囲は60mまでです。
夜や薄暗い環境や、測定対象面が日陰になっている場合は、ターゲットプレートなしで測れる距離は長くなります。日中や測定対象面の反射が悪い場合は、別売のターゲットプレートを使用してください。

（測定対象面）

無色の液体（水など）や、ガラス、発泡スチロール、半透性の表面があるものを測定すると、測定エラーが発生する場合があります。
また、高い光沢のある面に照準を測定する場合には、レーザ光が屈折し、測定誤差が生じます。
反射の悪い測定対象、濃色の面を測定する場合は、測定時間が長くなる場合があります。

第6章　お手入れのしかた

本機は乾いた柔らかい布で拭いてください。特にレンズ部は常にきれいに保ってください。
ホコリの付着がひどいときは、水を湿らせた柔らかい布でふき取ってください。

お願い

☆本機を水にさらさないでください。故障の原因となります。
☆洗剤や溶剤などを使わないでください。変色したり故障の原因となります。

第7章　主な製品仕様

製品名		マックス レーザ距離計 LS-211
測定距離		0.05～60m ＊1
測定精度		±1.5mm ＊2
最小測定単位		1mm
レーザクラス		クラス2
レーザタイプ（波長）		635nm、1mW未満
防塵防滴		IP54　※IEC529準拠 （あらゆる方向からの飛沫に耐えられることを示します）
ディスプレイ		LCD、バックライト付
自動電源オフ	レーザ	60秒
	電源	3分後
多機能ブラケット		○
電源		単4アルカリ乾電池×2本にて5000回測定可能 ※測定回数は新品の乾電池使用時。 　測定条件によっても異なります。
外形寸法		112×43×26mm（本体 ブラケット収納時）
質量		100g（乾電池含む）
使用環境		0℃～＋40℃　結露なきこと 周囲に強い光が無いこと
保存環境		－25℃～70℃

＊1 日中や反射の弱いターゲット面の測定時には、ターゲットプレートの使用をお奨めします。

＊2 好条件下（反射のよいターゲット面、室内での測定）で、10mまでとなります。10m以上の測定で、悪条件下（強い太陽光、反射の弱いターゲット面、不安定な周囲の温度）では、±0.25mm/m、数値が悪化することがあります。

※ピタゴラス機能で求めた距離は、測定値に基づく計算結果であり、本機の測定精度対象外です。測定誤差は測定距離、測定条件、測定方法により異なります。

第8章　こんなときは

8.1 エラーメッセージ

全てのエラーメッセージは、ⓘ か、「Error」で表示されます。

ⓘ	原　因	処　置
204	計算エラー	再度、正しい手順で測定します。
252	温度が高すぎます。	本体を使用可能温度範囲で使用します。
253	温度が低すぎます。	本体を使用可能温度範囲で使用します。
255	受信信号が弱すぎます。 測定距離が長すぎます。 （60m以上）	別売アクセサリーのターゲットプレートを使用します。
256	受信信号が強すぎます。	別売アクセサリーのターゲットプレートを使用します。
257	測定エラー 周囲が明るすぎます。	別の測定条件（強い光のない条件）で測定します
258	測定範囲外	測定範囲内で測定してください。
260	レーザ光が遮断されました。	再度、測定を行います。
Error	ハードウェアエラー	本体スイッチをON/OFFします。このシンボルが出続ける時は、本体に故障があります。お買い求めの販売店までご連絡ください。

8.2 うまく測定できないとき

症　状	ご確認ください
エラーメッセージが表示される	**【9.1】**を参照してください。
電源が入らない	乾電池は正しくセットされていますか？ 必ずアルカリ単4乾電池をお使いください。

8.3 お問い合わせ

お問い合わせの際は、以下をお知らせくださるようお願いいたします。

（1）製品名

（2）シリアルナンバー（本体裏面の電池ケース内部にS/Nとして記載しています。）

（3）具体的な内容

具体的な操作手順、そのときにどうなったか、などなるべく具体的にお知らせください。また、エラーメッセージが表示されている場合は、その番号もメモを取ってからご連絡ください。

製品に不具合が生じ、修理が必要と思われる場合でも、まず下記のお客様相談ダイヤルへお問い合わせください。不具合の内容によっては、修理をしなくても解決できる場合があります。

マックスお客様ご相談ダイヤル（無料）
0120−228−358

月～金曜日（祝日、当社指定休日を除く）　午前9時～午後6時
「ナンバーディスプレイ」を利用しています。

第9章　保証書／アフターサービスなど

9.1 保証書／アフターサービス

同梱の保証書記載内容にて製品保証しております。
保証期間は、ご購入日より1年間です。
「お客様登録カード」にて登録手続きをしていただいたお客様に限り、ご購入日より2年間の保証となります。是非、ご登録をお願いいたします。

レーザ光を照射しない等、一部の故障については、修理相当額にて同機種、または弊社が定める同等クラスの機種と交換とさせていただく場合があります。

本機の仕様は機能向上のため、予告無く変更することがあります。

本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL（03）3669-8120㈹

支店・営業所

札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL（011）261-7141㈹
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL（022）236-4121㈹
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2－10－3	TEL（019）621-3541㈹
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL（03）3669-8118㈹
水戸営業所	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2－3－27	TEL（029）255-3761㈹
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市簗瀬町2313	TEL（028）636-3012㈹
群馬営業所	〒371-0844	前橋市古市町233－5	TEL（027）210-7755㈹
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL（0263）26-4377㈹
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297－12	TEL（04）7132-1500㈹
千葉営業所	〒284-0001	四街道市大日1870－1	TEL（043）422-7400㈹
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5－17－19	TEL（042）528-3051㈹
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL（052）935-8531㈹
浜松営業所	〒433-8117	浜松市中区高丘東2－22－15	TEL（053）439-3300㈹
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL（06）6444-2031㈹
京滋営業所	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL（075）645-5061㈹
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町6－2－4	TEL（078）367-1580㈹
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL（082）291-6331㈹
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL（092）411-5416㈹
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3－24	TEL（099）269-5347㈹

販売関係会社

新潟マックス㈱	〒955-0081	三条市東裏館2－14－28	TEL（0256）34-2112㈹
埼玉マックス㈱	〒331-0823	さいたま市北区日進町3－421	TEL（048）651-5341㈹
横浜マックス㈱	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7－6	TEL（045）364-5661㈹
静岡マックス㈱	〒422-8036	静岡市駿河区敷地1－3－26	TEL（054）237-6116㈹
金沢マックス㈱	〒921-8061	金沢市森戸2－15	TEL（076）240-1871㈹
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割10－8	TEL（076）452-0182㈹
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東2－1711	TEL（0776）27-3378㈹
岡山マックス㈱	〒700-0971	岡山市野田3－23－28	TEL（086）246-9516㈹
四国マックス㈱	〒761-8056	高松市上天神町761－3	TEL（087）866-5599㈹
松山営業所	〒790-0951	松山市天山2－1－35	TEL（089）913-0608㈹

マックスサービスファクトリー㈱

本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL（027）350-7820㈹
埼玉サービスステーション	〒331-0823	さいたま市北区日進町3－421	TEL（048）667-6448㈹
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL（011）231-6487㈹
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL（022）237-0778㈹
名古屋サービスステーション	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL（052）935-8210㈹
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL（06）6446-0815㈹
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL（082）291-5670㈹
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL（092）451-6430㈹

●マックスお客様ご相談ダイヤル（無料） 0120-228-358

月～金曜日（祝日、当社指定休日を除く） 午前9時～午後6時

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

080328-00/00